

横浜市立上星川小学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子」	<自己も他者も尊重し、互いに関わっていく力> <自ら進んで挑戦していく態度>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりを大切にしながら、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことの意義や楽しさを感じながら、さまざまな課題に対して主体的に考え、よりよく解決していこうとする子を育てます。 ・自分の意志や判断によってよりよい行為を選択したり、相手の立場や気持ちを思いやって行動できたりすることができる子を育てます。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自ら進んで運動やスポーツを継続的にを行い、心身ともにたくましく生きようとする子を育てます。 ・自分の住むまちを愛し、地域や社会のために自分ができることを考え、地域社会のために貢献しようとする子を育てます。 ・自他の違いを受け止め、価値観や背景の異なる相手とのコミュニケーションを通して、共に生きていこうとする子を育てます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①体育科学習では運動の特性にふれながら、基本的な動きや技を身につけられるようにする。学習に対する見通しや自分に合っためあてをもち、意欲的に取り組めるようにする。
担当	②体力テストの結果等をもとに体力向上の取組を検討し、実施する。 (運動委員会を中心に)
体育部	

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- サッカー、バスケットボール、野球、水泳など、スポーツの習い事をしている児童が多く、運動をしていない児童と二極化している。
- 休み時間には外遊びをする児童が多い反面、室内で過ごすのが好きな児童も多い。運動技能面で不器用な児童が目立ち、ゲームなどをなかなか楽しめないケースも見られる。
- 給食の残量はやや多い。好きなものをよく食べるが、苦手なものは少量しか食べない傾向が見られる。
- 外遊びをする児童が多いが、特定の運動技能は高くない。(全国平均と比べると下回っている)

2) 体力の概要と要因の分析

小学校 5年男子	20mシャトルラン(回)				50m走(秒)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	528,386	52.24	21.10	50.0	524,948	9.37	0.96	50.0
横浜市	14,230	50.17	20.27	49.0	14,155	9.37	0.92	50.0
学校	45	45.53	21.34	46.8	46	9.22	0.96	51.5

小学校 5年女子	20mシャトルラン(回)				50m走(秒)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	503,555	41.62	16.52	50.0	504,916	9.60	0.83	50.0
横浜市	13,668	37.33	15.25	47.4	13,622	9.66	0.82	49.4
学校	50	37.84	13.80	47.6	52	9.32	0.59	53.4

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のために、本校では新体力テストを実施しなかった。左に示しているのは、令和元年度の新体力テストの結果となる。新体力テストの結果から、多くの項目で市平均と同等の結果が得られた。50m走では市平均を上回った。20mシャトルランはやや市平均を下回った。体力面の課題が見受けられる。運動が好きと回答した児童と、そうでない児童では、1週間の総運動時間に大きな開きがある。この結果と体力テスト結果に関係性があることから、運動が好きと思う児童を増やすことが、運動能力の向上につながると考えられる。

教科

《体育科・保健体育科での取組》

○体育科では、運動の特性にふれながら、基本的な動きや技を身につけられるようにする。また、学習に対する見通しや自分に合ったためあてをもち、意欲的に取り組めるようにする。

《他教科での取組》

○家庭科では食育との関連を図る。
○生活科・理科では生命の大切さを指導する。

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育科で培った資質能力をさらに発展させ、運動することの喜びや楽しみに触れることで運動経験を増加させる。
- ・保健委員会では、児童生徒の健康面での課題を分析し、校内に発信することで、心や体の健康を保つことの大切さを感じさせる。
- ・道徳の時間、総合的な学習の時間、特別活動では、心豊かな人間関係をはぐくみ、命を大切にす態度を育てる。

課外活動

- 学校保健委員会では、児童生徒の健康面での課題を分析し、校内に発信することで、心や体の健康を保つことの大切さを感じさせる。
- 運動委員会を中心とした各種体育行事を通し、運動に親しむ態度を育む。

令和3年度 横浜市立上星川学校 体力向上1校1実践運動

- 《名称》 体育行事の充実
《ねらい》 運動機会の確保、教員の指導力向上
《内容》 体育的行事を運動委員会（児童）が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。
(行事) 運動会 なわとびチャレンジ

- 指 標： ①行事後の振り返り 「事前取組」 「満足度」
②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」 「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。

※体育・健康プランは学校全体の体育・健康に関する指導の全体計画であり、体力向上の取組である「体力向上1校1実践運動」はその一部です。

※体力向上1校1実践運動の取組については、学校ホームページに記載してください。

＜参考＞ 学習指導要領総則 「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」